6．ファド・モハメド・カラフ（別名：(a)ファド・モハメド・カリフ、(b)ファド・モハメド・カラフ、(c)ファド・モハンメド・カラフ、(d)ファド・モハメド・カラフ、(e)ファド・モハンメド・カリフ、(f)ファド・カラフ、(g)ファド・ションガレ、(h)ファド・ションゴレ、(i)ファド・シャンゴレ、(j)ファド・ソンガレ、(k)フォウアド・ションガレ、(l)ファド・ムハンマド・カラフ・ションゴレ）
Fuad Mohamed Khalaf (a.k.a.: (a)Fuad Mohamed Khalif (b)Fuad Mohamed Qalaf (c)Fuad Mohammed Kalaf (d)Fuad Mohamed Kalaf (e)Fuad Mohammed Khalif (f)Fuad Khalaf (g)Fuad Shongale (h)Fuad Shongole (i)Fuad Shangole (j)Fuad Songale (k)Fouad Shongale (l)Fuad Muhammad Khalaf Shongole)
国籍：ソマリア
別の国籍：スウェーデン
活動地域：ソマリア（モガディシュ）
カラフは、アル・シャバーブに対する資金援助を行っており、2008年５月、同人は、ソマリアのキスマヨのモスクで２度にわたり、アル・シャバーブのための資金集めの催しを行った。2008年４月、カラフ及び他の数名は、モガディシュにあるエチオピア軍基地及びソマリア暫定連邦「政府」の部隊に対し、爆発装置のついた車両による攻撃を指示した。2008年５月、カラフ及び戦闘員集団は、モガディシュの警察署を攻撃及び占拠し、複数の兵士を殺害及び負傷させた。

7．バシル・モハメド・マハムード（別名：(a)バシル・モハメド・マフムード、(b)バシル・マフムド・モハンメド、(c)バシル・モハメド・モハムド、(d)バシル・モハメド・モハムード、(e)バシル・ヤレ、(f)バシル・コルガブ、(g)グレ・ガプ、(h)“アブ・ムスカブ”、(i)“コルガブ”）
Bashir Mohamed Mahamoud (a.k.a.: (a)Bashir Mohamed Mahmoud (b)Bashir Mahmud Mohammed (c)Bashir Mohamed Mohamud (d)Bashir Mohamed Mohamoud (e)Bashir Yare (f)Bashir Qorgab (g)Gure Gap (h)“Abu Muscab” (i)“Qorgab”)
生年月日：1979年から1982年頃、または1982年
国籍：ソマリア
活動地域：ソマリア（モガディシュ）
バシル・モハメド・マハムードは、アル・シャバーブの軍司令官である。また、マハムードは、2008年の後半時点で、アル・シャバーブの指導者評議会の約10名のメンバー内の一人である。マハムード及び共謀者は、2009年６月10日のモガディシュにおけるソマリア暫定連邦「政府」に対する迫撃砲攻撃を担当した。

8．モハメド・サイード（別名：(a)“アトム”、(b)モハメド・サイード・アトム、(c)モハメド・シアド・アトム）
Mohamed Sa’id (a.k.a.: (a)“Atom” (b)Mohamed Sa’id Atom (c)Mohamed Siad Atom)
生年月日：1966年頃
出生地：ソマリア・ガルガラ
活動地域：ソマリア（ガルガラ）
別の活動地域：ソマリア（バドハン）
モハメド・サイード・“アトム”は、ソマリアの平和、安全、及び安定を脅かす行動に関与した。同人は、武器禁輸に違反し、武器若しくは関連物資又は軍事活動に関連した資金提供及び資金援助を含む助言、訓練若しくは援助等を、直接的または間接的に、ソマリアに供給、販売または移送していた。アトムは、プントランド地域におけるアル・シャバーブの作戦にとって、武器及び弾薬の主要な供給者の一人と見なされている。同人は、2006年ソマリア北部の東サナアーグ地方で組織された民兵組織の指導者とされている。同民兵組織は、約250名の戦闘員で構成され、誘拐、海賊、テロリズムに関与し、武器禁輸措置に反して自らの武器輸入を行っている。アトムは、第一の拠点をガルガラ、第二の拠点をバドハンとして、この地域における主要な軍事的存在として自らの軍隊を設立した。複数の情報によれば、アトムは、アル・シャバーブと連携し、アル・シャバーブの指導者ファアド・モハメド・カラフから指示を受けている可能性があると言われる。
さらにアトムは、ソマリアへの武器密輸に関与していると言われる。複数の情報は、同人の部隊が、イエメン及びエリトリアから武器や装備品を受領していることを示唆している。2008年12月の報告によると、2008年初頭、ピックアップトラック２台が満杯になるほどの小型武器、弾薬、ロケット砲が、４週間の間に６回輸送されたことが目撃されている。武器取引に詳しいボサソのビジネスマンによると、アトムの船荷は武器市場には流れず、同人の軍隊での使用のために保管されるか、アル・シャバーブが活動するソマリア南部に移送されているものと見られる。
アトムの部隊は、ドイツ人援助関係者１名の誘拐、ボサソ近隣でのソマリア人２名の誘拐、死者20名、負傷者100名以上を出した2008年２月５日のボサソにおけるエチオピア人移住者に対する爆弾攻撃に関与したとされている。また、アトムの民兵組織は、2008年６月の海賊によるドイツ人夫妻の誘拐について二次的役割を果たした可能性がある。

9．ファレス・モハンメド・マナア（別名：(a)ファリス・マナア、(b)ファレス・モハンメド・マナア）
Fares Mohammed Mana’a (a.k.a.: (a)Faris Mana’a (b)Fares Mohammed Manaa)
生年月日：1965年２月８日
出生地：イエメン・サダー
パスポート番号：00514146　発行地：イエメン・サナア
ＩＤカード番号：1417576；　発行地：イエメン・アルアマナ　発行日：1996年１月７日
フェレス・モハンメド・マナアは、武器禁輸に違反し、ソマリアに武器又は関連物資を、直接的又は間接的に、供給、販売または移送してきた。マナアは、武器売人として知られている。イエメンでは人口を上回る数の武器が流入しているとされるが、2009年10月、イエメン政府は、国内の武器流通を取り締まる努力の一環として、同人を筆頭とする武器商人のブラックリストを公表した。イエメン事情に詳しいコメンテーターで、半年毎の国別報告書の執筆者であり、またジェインズ・インテリジェンス・グループにも貢献する米国人ジャーナリストによると、「ファリス・マナアは主要な武器売人であり、そのことはよく知られている」とされる。2007年12月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器商人シェイク・フェレス・マハメド・マナア」と書いている。また、2008年１月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器貿易人シャイク・ファリス・マナア」と書いている。
2008年半ば現在、イエメンは、アフリカの角地域、特にソマリアへの小型船による不法武器貿易の中核として機能し続けている。未確認情報によれば、ファリス・マナアは、ソマリアへの数々の船舶輸送に関与していた。2004年、マナアは、東欧の武器市場からソマリア人兵士に売買されたとされる武器契約に関わった。1992年以降のソマリアに対する国連の武器禁輸措置にもかかわらず、マナアによるソマリアへの武器密輸関与は少なくとも2003年まで遡ることができる。マナアは、2003年、東欧から数千もの武器購入を申し入れ、武器の一部をソマリアで売却する計画を示唆した。

○外務省告示第三百十三号

外務省告示平成十二年第三百二十一号及び平成二十二年第二百六十号を含む関連の告示に関し、国際連合安全保障理事会決議第一二六七号に基づき設立された同理事会委員会が平成二十二年三月十一日及び六月四日に行った決定に基づき、同理事会決議第一二六七号４（b）、第一三三三号８（c）及び第一三九〇号２（a）に定められた措置の対象となる個人及び団体を別表のとおり改正する。

平成二十二年六月二十五日

外務大臣　岡田　克也

（別表）

一、以下のとおり改正する。

「438．モハメド・エル・マフウディ
MOHAMED EL MAHFOUDI
称号：不明
役職：不明
生年月日：1964年９月24日
出生地：Agadir／Morocco
国籍：不明
旅券番号：不明
ＩＤ番号：不明
住所：via Puglia, n.22, Gallarate, Varese, Italy
国連制裁委員会による指定日：2004年６月23日
その他の情報：Fiscal Code : LMH MMD 64P24 Z330F」

を「438．削除」に改める。